



岡山市区づくり推進事業助成申込書  
(地域活動部門)

平成30年 1月 10日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ  
団体名 ひらしまけんこうふくしいんかい 平島健康福祉委員会 (HKF)  
所在地  
連絡先  
フリガナ  
代表者 役職・氏名  
会長 かきさき 柿崎 よしひで 由秀

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。  
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) <input checked="" type="radio"/> ア 地域課題解決    イ 地域課題掘り起し <input type="radio"/> ウ 地域計画づくり <input type="radio"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり    オ その他
事業名称	平島・元気で輝き事業
事業実施小学校区・地区	平島学区
事業実施回数	新規 ・ <input checked="" type="radio"/> 継続    3回目    /    【 28年度から】
課題	平島学区において今後急激に進むことが予想される超高齢社会の中で、高齢者が健康で自立した生活が送れるよう、自助・互助の考え方を理念に地域で支え合う仕組みを構築しておく必要がある。このことは8年前に設立された平島小地域ケア会議において、長い間検討協議を重ねてきた結果、課題解決の一つの方法として平成28年度より本事業を導入したものである。30年度も引き続き課題解決のため継続して実施していく。

<p>事業の目的</p>	<p>平島学区に住む高齢者が少しでも健康で安心して笑顔で過ごせる地域づくりを目指し、生活支援や集う場づくりなどの活動を通して、高齢者の健康と福祉に寄与することを目的としている。</p>
<p>事業の内容</p>	<p>① <u>ちょっとした困りごとをお手伝いする“生活支援サービス”の実施</u>      既成の制度ではまかなえないようなちょっとした生活援助をHKFボランティア員が有償ボランティア方式（100円チケット券1枚で約15分間）によりサービスを提供するシステム。</p> <p>② <u>寄合いの場づくりで2か所の“井戸端カフェ”の運営</u>      井戸端カフェ東平島は第2土曜日、井戸端カフェ南古都は第4土曜日、いずれも10時～12時で開催。誰でも気軽に立ち寄り、談笑や体操、歌、ゲームなどを通して元気になってもらう。</p> <p>③ <u>“HKF研修会”及び新規“ふれあいサッタデイ”の開催</u>      HKF研修会は健康についての学びの場であると同時に医療や介護の制度について理解するための場でもある。また心身の機能向上のための脳トレやストレッチ体操なども合わせて行っている。今までは年4回平島コミュニティハウスで開催していたが、4月より新たに追加して毎週土曜日に1時間程“ふれあいサッタデイ”と称して健康体操を主に交流の場を開設する。</p> <p>④ <u>“HKFニュース”の定期発行</u>      地域イベントや耳より情報などを掲載したニュースを年4回全戸に配布する。</p> <p>⑤ <u>平島小地域ケア会議の企画運営</u>      学区内の高齢者の課題について話し合う場である。地域の関係団体の主要メンバー30名で構成され平成22年に立ち上げ3か月毎に開催し今年で40回になる。</p>
<p>期待される成果・目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業の推進により“支え合いのまちづくり”が少しでも前進できれば、住民の皆さんに安心して住める地域だと実感して住み続けてもらうことができる。また、コミュニティの促進と介護予防が図られることで、高齢者の健康寿命を延ばすことができ、結果として高齢者の皆さんが地域とつながりながら元気で社会参加や活動を継続できる。この活動を続けて行くことによって自助・互助・共助の理念が地域に浸透し、地域住民のつながりをさらに深めていくことができる。</li> <li>・目標は一人でも多くの方が“元気で輝き”ながら、地域とつながり社会参加や活動が出来ることを願い、その環境を少しずつでも作っていくことである。</li> </ul>

企画などの工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HKF 研修会の開催については、平島コミュニティだけでの開催ではなく、単一町内会の公会堂へも出前研修を継続実施する。また追加企画の“ふれあいサッタデイ”により健康体操などを通じて集う場を増やす。</li> <li>・平島小地域ケア会議を通して、平島学区連合町内会及び平島学区安全安心ネットワークと密に連携をとりながら、地域住民の意見を広く吸い上げ、常に課題解決のための方法を模索しながら具体的な行動に移していく。</li> <li>・公民館との連携活動により“支え合いのまちづくり”のムードを上道学区へも広げて行く。</li> </ul>
協働する団体等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平島栄養改善協議会：健康福祉研修会時、講師として支援してもらいながら協働していく。</li> <li>・平島安全安心ネットワーク（連合町内会、民生児童委員会、愛育委員会、老人クラブ）：平島学区小地域ケア会議の構成メンバーと課題について協議し協働していく。</li> </ul>
事業の情報公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つながる広場や市民の広場への投稿、SNSの活用。</li> <li>・地域センターや公民館への情報の提供と共有化。</li> <li>・HKF ニュースの全戸配布。</li> <li>・今後、平島型地域包括ケアシステムを構築することができれば、インターネット上でホームページを開設し情報を公開していきたい。</li> </ul>
学区地区への広がり	<p>平島小学校区から上道中学校区への活動の広がりのために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上道公民館が主催する“人づくり講座”に顔の見える関係づくりのための交流会を企画提案し、平成 29 年度中に 3 回実施予定である。(1 回目は昨年 12 月 16 日に実施済み、2 回目 2/23、3 回目 3/9)</li> <li>・平成 30 年度は本交流会を更に具体的な課題に絞り、例えば生活支援についてそれぞれの学区での実現の可能性を探っていくための話し合いができればと考えている。</li> </ul>
前年度からの見直し拡充点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度計画していた各事業についてはほぼ達成することができた。特に生活支援サービスの件数の増加や健康福祉研修会の単一町内会へ出向いての出前研修に関しても実施することができ一定の成果を上げることができた。</li> <li>・拡充点としては平島学区内での運動の機会をもっと増やしてほしいという声があり、週に一度コミュニティハウスでできるよう新たに今年度に計画である。</li> <li>・審査会からの助言のなかで「事務局の運営が大変ではないか」という件については、現在会員で役割分担をしながら何とか行えているので大丈夫である。</li> </ul>
次年度以降の予定	<p>これまで進めている 5 事業の中の一つ健康福祉研修会をステップアップさせ、下記のことを安全安心ネットワークに所属する関連団体と連携しながら展開していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・“ふれあい・サッタデイ”の立ち上げと軌道に乗るまでのサポート。</li> </ul> <p>②資金の確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 次年度も区づくり推進事業を申請する予定</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> (4) 年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。</li> </ul> <p>資金確保の具体的な方策：参加者の会費及び地域の団体・企業からの協賛金により賄っていく予定。</p>

その他PRしたい点

HKFの活動は平島安全安心ネットワークの傘下に所属し各種団体と連携を図りながら行っているが、本活動が岡山市の良い意味でのモデルケースになることを目指し、これからも少しずつではあるが地道に事業を進めて行くことで地域包括ケアシステムの一角を担っていきたい。

事業スケジュール

平成30年度・平島健康福祉委員会(HKF)活動予定

平成30年1月9日現在

月日	場所	内容/担当チーム
4/1~4/30	平島学区	生活支援サービス(B班)
4月13日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(A班)
4月27日	平島コミュニティ	第41回小地域ケア会議
4月28日	旧木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都(B班)/定例会
5/1~5/31	平島学区	生活支援サービス(A班)
5月6日	平島小学校	安全安心ネットワーク祭の支援
5月12日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(B班)
5月26日	旧木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都(A班)
		健康福祉ニュース9号発刊
6/1~6/30	平島学区	生活支援サービス(B班)
6月2日	平島コミュニティ	第17回平島健康福祉研修会
6月9日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(A班)
6月23日	旧木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都(B班)/定例会
7/1~7/31	平島学区	生活支援サービス(A班)
7月14日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(B班)
4月27日	平島コミュニティ	第42回小地域ケア会議
7月28日	旧木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都(A班)
		健康福祉ニュース10号発刊
8/1~8/31	平島学区	生活支援サービス(B班)
8月11日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(A班)
8月18日	平島小学校	平島振興まつりの支援
8月25日	旧木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都(B班)/定例会
9/1~9/30	平島学区	生活支援サービス(A班)
9月1日	平島コミュニティ	第22回平島健康福祉研修会
9月8日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(B班)
9/16?	平島小学校	敬老会の支援
9月22日	旧木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都(A班)
10/1~10/31	平島学区	生活支援サービス(B班)
10月13日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(A班)
10月26日	平島コミュニティ	第43回小地域ケア会議
10月27日	旧木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都(B班)/定例会
		健康福祉ニュース11号発刊
11/1~11/30	平島学区	生活支援サービス(A班)
11月10日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(B班)
11月24日	旧木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都(A班)
12/1~12/31	平島学区	生活支援サービス(B班)
12月1日	平島コミュニティ	第23回平島健康福祉研修会
12月8日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(A班)
12月22日	旧木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都(B班)/定例会
1/1~1/31	平島学区	生活支援サービス(A班)
1月12日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(B班)
1月25日	平島コミュニティ	第44回小地域ケア会議
1月26日	旧木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都(A班)
		健康福祉ニュース12号発刊
2/1~2/28	平島学区	生活支援サービス(B班)
2月9日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(A班)
2月23日	木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都(B班)/定例会
3/1~3/31	平島学区	生活支援サービス(A班)
3月2日	平島コミュニティ	第24回平島健康福祉研修会
3月9日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(B班)
3月23日	旧木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都(A班)/総会

# 収 支 予 算 書

## ◆ 収 入

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
岡山市補助金	92500	147500	(100 円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	10000	49500	
参加者負担金	30000	30000	サービスチケット代など
協賛金	37500	50000	平島連合町内会/平島 振興事業推進協議会
寄付、他収入	15000	18000	健康福祉ニュース広告 協賛
計	185000	295000	

## ◆ 支 出

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
印刷製本費	17000	17000	HKF ニュース(2000×4 回)ポスター、研修会資料 (4000)身分証明証、チ ケット券製作費(5000)
通信運搬費	70000	80000	携帯電話利用料金 (67500)HKF ニュース及 び案内の郵送代 (12500)
謝礼金	12000	12000	研修会講師謝礼(3000 ×4回)
食料費	36000	36000	研修会及び井戸端カフ ェ水分補給用(1300×26 回)
会場使用料	10000	40000	平島コミュニティ(32800) 井戸端カフェ 2 か所 (7200)
消耗品費	20000	10000	支援員のユニフォーム代 (2000×5人)

保険料	20000	20000	支援員ボランティア保険 (1000×20人)
視察研修費	0	80000	バス代(50000)、入場料 (30000)
予備費	0	0	
計	185000	295000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	<input checked="" type="radio"/> 希望する	<input type="radio"/> 希望しない
-----------	---------------------------------------	-----------------------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

会としての手持ち金に余裕が無いこと
-------------------

注①：前年度決算額が確定していない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・旅費交通費・通信運搬費・謝礼金・会場使用料・保険料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。

平成30年1月9日